

# ママを応援

地域の先輩ママが、新米ママを応援するため、ボランティアで活動しているグループが町内にあります。子どもではなく、ママにスポットを当ててサポートしています。



「竹間沢公民館ホールに子どもたちが笑う声、ママたちの楽しそうな会話、子育てを終えた世代のママたちの姿」三芳町には、すくすくネットワーク「ぼけっと」と生活支援「グループパラソル」があり、共にボランティアで子育てを支援を行っています。「地域の先輩ママとして、新米ママを手伝いたい、応援したい」と思い、7年前から活動しています」とぼけっと代表の竹内恵子さん。「親に愛情を注がれていない子が多い、というニュースを見て、子育てのお手伝いをしたいと思ったことがきっかけで始めました」と話すのはパラソル代表の天沼佐智代さん。ぼけっとは人形劇や手あそびの実演を通じて、子育て中のママと子どもたちが楽しめる場を、パラソルは月に2回、竹間沢公民館2階の和室でママ同士のコミュニティの場を作り、提供しています。

年一度ぼけっととパラソルが共催する「子育ての経験を活かしママたちをサポートします。」

「子どもたちのために何かできないかと考え、町内の保育所・保育園で交通安全教室を行うことになりました」と話すのは、まちづくりボランティアの活動をしている渋谷弘さん。協働のまちづくりネットワーク「都市安全グループ」の代表を務めています。このグループでは安全安心なまちづくりをめざし、小学校区別の安全安心マップの作成や、町内保育所（園）での交通安全教室の開催支援、各地区集会所での自転車安全運転講習開催などを現在17人のボランティアが活動しています。

「小学校では、定期的に交通安全の講習を行っています。保育所（園）では行っていないと聞き、子どもたちを守りたいと思って、交通安全教室を3年前から始めました」。

この教室は、三芳町と警察署、そして都市安全グループの協働で行われて

「子どもたちにも理解できるように、紙芝居のように説明し、腹話術の人形を使うなど、楽しみながら学べるように工夫をしています」。

「子どもたちを大切に思い、守りたいと考えない住民はいないと思えます。だから私たちはこうした取り組みを行い、子どもたちに安全で安心な環境を作っていかなければと思っています」と渋谷弘さんは話しました。

交通安全教室を終えた子どもたち。帰宅すると「赤は渡っちゃだめなんだよね」「シートベルトは絶対にしない」とだめなんだよね」と保護者に話すそうです。交通安全教室があったことを保護者に伝えることで、家族全体が改めて交通安全への意識を向上させることもつながっています。

町のために、子どもたちのためにできることを、住民自らが考え行動しています。

で行う「秋のおたのしみ会」。参加したママからは「子どもを預けて、ママ同士でおしゃべりできる時間が作れるのは本当にありがたい」との声が。この会の特徴は子どもへのサポートではなく、「ママへのサポート」に重点を置いていること。「三芳町の子どもたちが、いい子に育つために大切なこと。それは、ママがいきいきとして、ストレスをためないことです。私たちも子育てを経験し、その大切さを痛感しています。ママをサポートし、心に余裕を持ってもらうことが結果として、子どもに対する接し方などに影響するんです。だからママを応援し、ママ目線でサポートをしているのです。」とぼけっととパラソルの代表の二人は口をそろえました。

地域の子と親にできること。先輩ママとしての経験が、活かされています。



↑パラソルの3人（左）とぼけっとの皆さん（右）。先輩ママたちが新米ママを応援しています。

パラソルは第1火曜・第3金曜に竹間沢公民館2階でおしゃべりママ友づくりとして親子が交流できる場を提供しています。詳しくは ☎049-259-0389 天沼へ。ぼけっとの問い合わせは ☎049-259-0364 竹内へ。

# 地域ボランティアが、子と親にもおくる「しるし」。

# 安全を守る

子どもたちの事故の多くは「飛び出し」。その事故を少しでも無くし、正しい交通安全の知識を小さなころからもらうため、活動しているボランティアがいます。



「町の子どものために何かできないかと考え、町内の保育所・保育園で交通安全教室を行うことになりました」と話すのは、まちづくりボランティアの活動をしている渋谷弘さん。協働のまちづくりネットワーク「都市安全グループ」の代表を務めています。このグループでは安全安心なまちづくりをめざし、小学校区別の安全安心マップの作成や、町内保育所（園）での交通安全教室の開催支援、各地区集会所での自転車安全運転講習開催などを現在17人のボランティアが活動しています。

「小学校では、定期的に交通安全の講習を行っています。保育所（園）では行っていないと聞き、子どもたちを守りたいと思って、交通安全教室を3年前から始めました」。

この教室は、三芳町と警察署、そして都市安全グループの協働で行われて

「子どもたちにも理解できるように、紙芝居のように説明し、腹話術の人形を使うなど、楽しみながら学べるように工夫をしています」。

「子どもたちを大切に思い、守りたいと考えない住民はいないと思えます。だから私たちはこうした取り組みを行い、子どもたちに安全で安心な環境を作っていかなければと思っています」と渋谷弘さんは話しました。

交通安全教室を終えた子どもたち。帰宅すると「赤は渡っちゃだめなんだよね」「シートベルトは絶対にしない」とだめなんだよね」と保護者に話すそうです。交通安全教室があったことを保護者に伝えることで、家族全体が改めて交通安全への意識を向上させることもつながっています。

町のために、子どもたちのためにできることを、住民自らが考え行動しています。



↑第2保育所で行われた交通安全教室。パトカーが目に入ると子どもたちは大喜び。緑のジャンパーはまちづくりネットワーク共通。



都市安全グループ代表 渋谷弘さん

## 児童虐待相談対応件数



## 地域が子どもを守る 虐待を未然に防ぐ

児童虐待とは、親（または保護者）によって子どもに加えられた行為（不作為）で、子どもの心身を傷つけ、健全な成長・発達を損なう行為（不作為）を言います。早期発見には、地域が子どもを守る。という意識が必要。ちょっとした「声かけ」「気づき」で、子どもを虐待から救うことができます。

次のような子を見かけたら、虐待をされているかもしれません。

- ・不自然な傷や打撲のあとがある
- ・表情が乏しい
- ・おどおどしている
- ・親を避けようとする
- ・着衣や髪の毛がいつも汚れている
- ・落ち着きがなく乱暴になる
- ・夜遅くまで一人で遊んでいる

あなたのまわりに「虐待を受けている」と思われる子どもがいたり、子育てに不安がある人は、こども支援課や川越児童相談所などに連絡（通告）してください。

町では、虐待を受けた子どもに限らず、支援が必要な家庭を応援しています。三芳町子どもを守る地域ネットワーク協議会を設置し、協議を行い、親子の支援を続けています。地域全体で子どもを見守り、育てていくことが未来ある子どもたちへのサポートにつながります。

## 相談窓口のご案内

相談機関	受付時間・電話番号
こども何でも相談（こども支援課）	月～金 8:30～17:00 ☎258-0055（直通）
育児相談（保健センター）	月～金 8:30～17:00（祝日除く）☎258-1236
子育て相談（子育て支援センター）	月～金 随時受付 ☎258-5106
教育相談（教育委員会）	月～金 9:30～16:30（祝日除く）☎274-1023
川越児童相談所	月～金 8:30～18:15（祝日除く）☎223-4152 全国共通ダイヤル ☎0570-064-000
休日夜間児童虐待通報ダイヤル	☎048-779-1154

## 町はオレンジリボン運動を応援しています。



オレンジリボンは、子ども虐待防止のシンボルマークです。